

リーフレットを活用するための 指導の手引

北海道教育委員会

中学生用

学ん DE 防災

津波編

このリーフレットは、特別活動や総合的な時間などにおいて、北海道で発生した津波被害について理解を深め、津波による災害に対し、日頃から自分の安全を確保するために、どのようなことが必要かを話し合うなどして、生徒自らが防災意識を高めることをねらいとしています。

指導のポイント！

日本は地震が多く、その後に発生した津波によって度々大きな被害を受けています。北海道でも幾度か津波の被害を受けており、特に、平成5年の北海道南西沖地震後に津波により多くの人命が失われたことを中学生の詩を活用して理解させます。

もっと詳しく！



中央防災会議の「災害時の避難に関する専門調査会」（内閣府）に設置された「津波防災に関するワーキンググループ」の資料「資料2 主な津波被害」には、過去の津波被害、避難状況とその問題点、今後、想定される主な津波と被害などについて掲載されています。

専門調査会 津波防災

検索



北海道南西沖地震の記録や奥尻町における地震・津波対策については、奥尻町のウェブページ「防災・救急」で紹介されています。

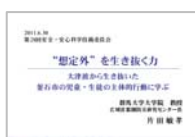
奥尻町 防災・救急

検索

指導のポイント！

東北地方で古くから伝わる「津波てんでんこ」という言い伝えを参考に、津波が起きたらどのように行動するべきかについて理解させます。

もっと詳しく！



津波から命を守る言い伝えには、自らの命に責任をもつこと、家族との信頼関係を築くことの大切さが込められており、釜石市の中学生は、東北地方太平洋沖地震が発生した直後に、率先して避難し、約3000人の児童生徒が津波から自らの命を守りました。

詳しくは、文部科学省の「安全・安心科学技術委員会」（第28回）の資料1（群馬大学 片田敏孝教授）を参照。

安全・安心科学技術 第28回

検索

指導のポイント！

津波の押し寄せるスピードや破壊力など津波の危険性について理解を深めます。

もっと詳しく！

津波発生の仕組みや津波の特徴は、気象庁のウェブページ「よくある質問集」でわかりやすく紹介されています。

気象庁 津波について

検索



また、「政府インターネットテレビ」の番組「51ch 防災チャンネル」では、津波のもつ威力をVTRで解説しています。

- 番組「津波の怖さ知ってますか？」
- 番組「津波の発生する仕組み」

政府インターネットテレビ

検索

指導のポイント！

津波が発生したときの具体的な対応や日頃からの備えについて、家族で話し合い、生徒や保護者の防災意識を高めます。また、話し合った内容を学級で交流し、危険回避能力の向上を図ります。

津波の危険を感じたら、海から離れ、速やかに高い場所へ避難するよう指導します。また、津波ハザードマップなどで避難場所や避難経路を調べるときは、想定される浸水範囲にとらわれず、より安全な避難場所や避難経路を複数考えさせます。

もっと詳しく！



「政府インターネットテレビ」の「徳光&木佐の知りたいニッポン！～想定外の災害に備えて あなたと家族を守る 減災」の番組では、群馬大学の片田敏孝教授が釜石市の津波防災教育における避難の3原則「想定にとらわれるな」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」などについて説明しています。

想定外の災害に備えて

検索



津波から命を守るために

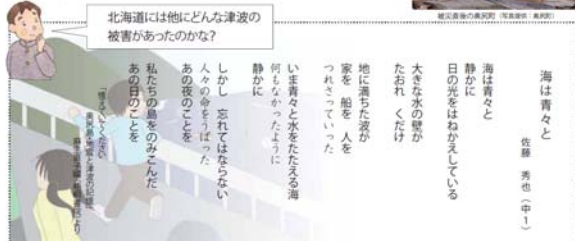
東日本大震災やインドネシア・スマトラ島沖地震などの巨大地震では、地震の発生直後に押し寄せた津波が、建物などを破壊し、多くの尊い命を奪いました。

日本は海に囲まれており、これまでに何度も津波の被害にあっています。そのため、海沿いに住んでいる人はもちろん、海岸に出かける人も津波について理解し、備えておくことが大切です。

津波の特徴を理解し、津波の恐れがある場合には、あわてず速やかに行動できるよう備えましょう。

北海道の津波被害

平成5（1993）年7月に発生した北海道南西沖地震では、地震発生直後に奥尻島をはじめ北海道や東北地方の日本海沿岸などに津波が押し寄せました。地域によっては津波の高さが30メートル以上となることもあり、震源に近い奥尻島を中心に地震や津波、火災などにより死者202人、行方不明者28人の被害が生じました。



豆知識

津波の言い伝え

古くから津波に襲われてきた三陸地方には、「津波てんでんこ」という言い伝えがあります。この言い伝えには、「津波が来たら、各自でんでんばらばらに高台へ逃げて自分の命を守る」という意味があります。また、津波の被害を受けた場所を伝えるため「此処より下に家を建てな」という祖先の教えが刻まれた石碑も数多く残っています。こうした祖先からの言い伝えが今も語り継がれています。



津波の特徴を知ろう！

1 津波は猛スピードで、しかも繰り返し襲ってくる！
津波は、水深が深いところでは、ジェット機を飛ばすスピードと同じぐらいの速さで伝わります。海岸に近づくにつれて速度は遅くなりますが、後から来る波が重なり、津波の高さは高くなります。また、津波は何度も繰り返し襲ってきます。第1波よりも、その後やってくる波の方が高くなる場合があります。

2 津波は大きなエネルギーをもっている！
津波は、海の表面だけでなく、何メートルもの深い海底までの海水すべてが動いて伝わるので、すさまじい破壊力をもっています。津波が川をさかのぼり、堤防を越えて浸水するなどの被害が発生することもあります。

津波ハザードマップ

調べてみよう
地図で自宅や学校の海抜高さを調べたり、津波ハザードマップで危険な場所などをチェックしたりしてみましょう。

話しかけてみよう
津波が来たとき、あなたはどのルートで、どこに避難しますか。自宅にいるとき、買い物に出かけるときなど、様々なケースを考えてみましょう。

- 自宅にいるとき
- () で買い物をしているとき
- () 駅にいるとき など

津波がくる前に、まず避難！

海岸の近くにいる

「強い大きな」揺れを感じたら
「中くくりと長く続く」揺れを感じたら
「急な引き波」があったら、引き波が始まるまでは固まりません！
津波警報・注意報が出ていなくても、すぐに高いところへ避難しましょう！

津波警報・注意報
津波警報 高いところまで3m程度以上を予備
津波注意報 高いところまで2m程度を予備
津波注意報 高いところまで0.5m程度を予備

発行：平成23年10月
発行所：北海道教育委員会（生涯学習・学校安全）
問い合わせ：011-221-4111（内線25-670）
URL: <http://www.dokkyo.pref.hokkaido.lg.jp/trk/issa/>

協力機関
北海道教育大学札幌校
札幌市教育委員会
北海道教育大学旭川校
旭川市教育委員会
道庁大学（イラナ・緑川 石田晴香 伊藤早穂）

シリーズ「学ん DE 防災」（中学生用）
（地震編）
（風水害編）
左のURL（ウェブ）に掲載しています。